

| | | | | | |
|-------|--------|---------|-------------|-----|-------|
| 事務事業名 | 献血推進事業 | 事務事業No. | 10302000348 | 所属課 | 健康推進課 |
|-------|--------|---------|-------------|-----|-------|

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

| | |
|--|--|
| (5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 血液製剤の安全性の向上、安定供給の確保及び適正な使用の推進が目的である「安全な血液製剤の安定供給を確保に関する法律」に基づき、血液センターからの依頼によって昭和39年より推進されてきた。平成15年に制定された「安全な血液製剤の安定供給を確保に関する法律」の施行により | |
| (6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? なし | |
| (7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 改革改善を行う 協力が固定化しており、増加させるためには、啓発活動に工夫が必要であるため、茨城県赤十字血液センターと連携し、新規の協力事業所を確保する必要がある。 | |

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

| 評 価 項 目 | |
|-----------|---|
| 目的 妥当性 | ①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) 結びついている 献血事業により血液製剤の向上と、安定供給の確保を図ることは、「健康づくりの推進」に結びついている。 |
| | ②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) 妥当である 献血事業を円滑に実施することは、「安全な血液製剤の安定供給を確保に関する法律」で、各自自治体の責務となっている。 |
| 有効性 | ③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) 向上余地がある 献血事業について理解してもらうため、献血の趣旨について、更なる周知徹底を図れば、増加が認められると思う。 |
| | ④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) 影響有 安全な血液製剤の安定供給が出来なくなる。 |
| | ⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)⇒具体的な手段、事務事業名 余地がない 献血事業の特異性により他の手段はない。 |
| 効率性 | ⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) 削減余地がない ほぼ職員1人で、対応しているので削減の余地はない。 |
| 公平性 | ⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) 公正・公平である 献血協力者に対する報償品であり公平である。 |

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|----------|---|----|----|-----|--|--|----|----|----|----|----|--|---|---|----------|---|---|---|
| (1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ②有効性 □ 適切 ■ 見直し余地あり ③効率性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ④公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり | | (2) 全体総括(振り返り、反省点) 血液製剤の安定供給は、安心と安らぎのある健康福祉社会づくりの基本であり、今後も周知徹底を図り継続が必要である。 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (3) 今後の事業の方向性 □ 終了 □ 継続 → □ 改革改善を行う → (複数回答可) □ 廃止 □ 休止 → □ 現状維持 (□ 目的の再設定 □ 効率性の改善) (□ 有効性の改善 □ 公平性の改善) (□ 統廃合ができる □ 連携ができる) | | (4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> | | | コスト | | | 削減 | 維持 | 増加 | 成果 | 向上 | | ○ | × | 維持 低下 | × | × | × |
| | | コスト | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 削減 | 維持 | 増加 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成果 | 向上 | | ○ | × | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 維持 低下 | × | × | × | | | | | | | | | | | | | | | |
| (5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 | | (6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

| | |
|--|---|
| (1) 課長評価 課長確認後の評価 B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出 | (2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 |
|--|---|